

令和3年度

前期学校評価書

令和3年9月14日(火)



6年生と一緒にひまわりの種植え (6月:1年生)



1年生と一緒に「はちくんダンス」講習会(6月:2年生)



矢立小の友達と交流授業(6月:3年生)



カヌーに挑戦！宿泊体感学習Ⅰ(6月:4年生)



鳳凰山全員登頂！宿泊体感学習Ⅱ(6月:5年生)



小学校最後の運動会(5月:6年生)

大館市立釈迦内小学校

学校評価 Aと学校関係者評価 の評価区分	きわめて良好	学校評価 Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 学校運営と保護者・地域との連携

児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
確かな組織運営を基盤として、学校の取組が保護者によく伝えられ、家庭や地域の方々の協力を得た活動が効果的に行われている。	前期	おおむね良好	改善すべき場所を的確に把握しており、スムーズに修繕・改善が進んでいる。幼保小の連携がとてよく進められており、授業交流がよい。このようにうまく進められている地域は他にないので、これからも大切にしてほしい。2(4)について、コロナ禍で様々な制約の中ではあるが、関係機関との情報交換を密に行い、地域の教育力を積極的に活用してほしい。これからの取組に期待したい。
	年度		

【前期(→年度)】1(2)について→各教室にエアコンが設置され、快適な環境で学習を進めることができた。感染症対策として、換気の仕方に気を付けながら、効果的に活用していきたい。校舎や備品の老朽化が進み、故障や破損が目立ち始めている。毎月1日の安全日には職員が一齐に管理箇所の点検を行っているが、今後は日常的に管理箇所の点検を行うようにし、早期発見・早期修繕に努めたい。2(3)について→学校報を週に一回発行し、学校の様子を保護者と地域にお知らせしてきたが、学校ブログへの関心も高いことから、今後は学校報とブログの長所を生かし、併用しながらより詳しい情報の発信をしていきたい。(4)(5)について→幼保との連携として、1年生の授業参観や保育参観を行った。日程を見直すことで情報交換の時間確保に努め、よりスムーズな幼保から小への接続につなげていきたい。地域学校協働活動推進員の力を借りながら、地域学習の教材開発や人材の発掘を行い、より一層学習活動の充実を図りたい。

【年度(→次年度)】

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
1 校内運営組織の機能化	(1) 職員会議、指導部会、学年主任会の計画的な運営	定期的な職員会議、指導部会、学年主任会、学団部会、各種委員会の開催	4	
	(2) 教育活動に生きる事務運営と施設設備の管理	学年・学級会計事務の効率化、教材備品の計画的購入、定期的な施設設備の点検と補修		
2 学校や子どもの情報の受発信、地域の教育力の活用	(3) 家庭への定期的・効果的な情報発信	PTAでの説明と講話等、学年・学校報の発行、ホームページの公開、学校ブログの開設、諸行事の案内	3	
	(4) 関係諸団体との連携強化と教育力の活用	子どもを育てる会や民生委員の会等関係機関との情報交換、地域学校協働本部等での積極的な人材、施設活用		
	(5) 幼・保・中との連携	運動会、ひまわり活動や田植え、ひまわり油等販売活動での交流、中学校職場体験、小中連携研究会の実施		

○児童 □保護者 ■教職員

[1(2)教育活動に生きる事務運営と施設設備の管理に関すること]

・今年度、修繕した箇所、設置された備品関係

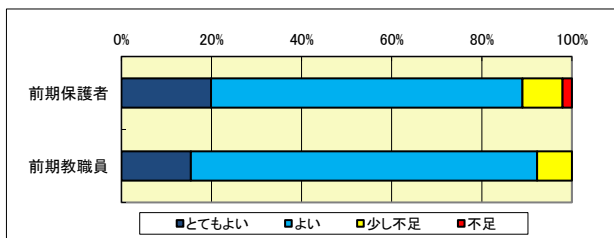
- 各教室へのエアコン設置
- 体育館・ピロティの時計修理
- 遊具の塗装・修繕
- 児童玄関前床面修理
- 管理棟ピロティ屋根の修繕・塗装(修繕中)

・次年度以降、大館市への要望

- 小プール底面塗装の剥がれ・修繕【プール】
- 体育館トイレの洋式化【トイレ】

[2(3)家庭への定期的・効果的な情報発信に関するデータ]

- 学校報、学年だより、学校ブログなどは学校や子どもたちの様子をわかりやすく伝えていると思いますか。
- 家庭へ定期的・効果的な情報発信を行っていますか。



エアコン設置

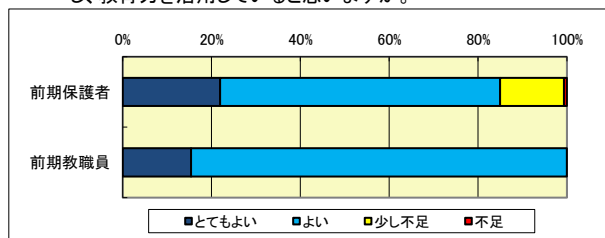


ピロティの時計修理



[2(4)関係諸団体との連携強化と教育力の活用に関するデータ]

- 学校は、PTA活動や行事、各教科の学習、クラブ活動などで、保護者や地域の教育力を活用していると思いますか。
- PTA活動や行事、各教科等で、保護者や地域、関係諸団体と連携し、教育力を活用していると思いますか。



幼・保・中との連携



幼保小連携
保育士による1年生の授業参観



子どもハローワーク
北陽中生による運動会のお手伝い

関係諸団体との連携強化と教育力の活用



地域学校協働推進員の協力による、校外学習
3年生社会「農家の仕事」畑見学

学校評価Aと学校関係者評価の区分	きわめて良好	学校評価Bの基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

II 特色ある学校づくり

児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
ひまわり活動を核としたふるさとキャリア教育で児童のアイデアを生かした地域活性化が行われている。	前期 おおむね良好	前期 おおむね良好	ひまわり活動が例年とは違う形でのアプローチとなったが、学校がひまわり活動を通して目指したキャリア教育の方向性が伝わってきた。今後は保護者に対する説明の機会をもっと設け、さらに理解を得られるようにしてほしい。機会あるごとに情報の発信を行い、情報提供を積極的に行うことも大切にしてほしい。
の学校改善評価の概要と学校	年度		
	【前期(→年度)】3(6)について→11年目のひまわり活動をスタートするにあたり、キャリア教育と経済教育についての学習会を企画し、全職員で育てたい力を明確にしながら進めてきた。今年度は、ひまわり活動を核とした探求的なプロセスを意識した学習となるように、生活科や総合的な学習の時間で学年テーマを設定し実践している。また、地域のよさを発見したり、なりたい自分を見付けられたりするように、地域・保護者の関わりはこれまで通りに行い、異学年交流や幼保小連携にも積極的に取り組んできた。3(8)について→6年生を中心に児童主体となるように活動を進めてきた。それにより自分たちの活動として前向きに取り組む児童が増えた。悩み、考えながら取り組む学びの場となっていたことが児童の評価からも読み取れる。しかしながら、児童の手で作業可能な範囲に規模を縮小して活動してきたことにより、地域や保護者との交流の機会が減ってきた課題がある。交流の機会を増やすことで、さらなるキャリア発達を図りたい。		

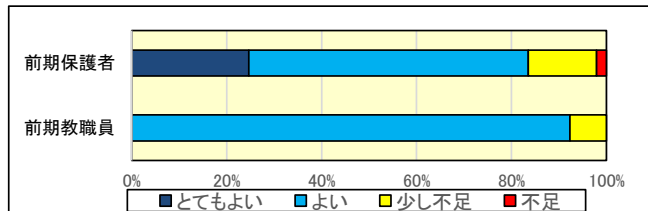
	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
3 児童主体のひまわり活動	(6) 特色ある教育課程の編成と実施	・付けたい力を明確にしたふるさとキャリア教育の推進・各教科等と関連させたカリキュラムマネジメント・キャリア教育と連動して育てる力の明確化	3	
	(7) なりたい自分をイメージできる活動	・一戸一ひまわり運動・ひまわり感謝祭等の実施・異学年、地域の人、保護者との交流・他者との交流を、なりたい自分のイメージにつなげる振り返り(短作文)	3	
	(8) 前向きに挑戦する心を育む活動	・6年生を中心とした取組・児童の発想や願い、問いを生かしたひまわり活動・生活科・総合的な学習に位置付けた各学年でのひまわりプロジェクト		

○児童 □保護者 ■教職員

[3(6)特色ある教育課程の編成と実施に関するデータ]

□学校は、ひまわり活動を核としたふるさとキャリア教育を推進することで、地域の一員としての自覚やふるさとの発展に尽くそうと言う気概を培うことができていると思いますか。

■付けたい力を明確にして、各教科やキャリア教育と連携したふるさとキャリア教育を行うことができていると思いますか。

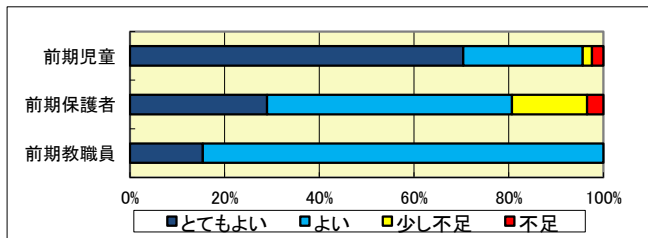


[3(8)前向きに挑戦する心を育む活動に関するデータ]

○ひまわりを育てる活動や各学年の活動に進んで取り組むことができましたか。

□学校は、児童の思いや願いを実現するために保護者や地域の方々と連携して、ひまわり活動に取り組んでいると思いますか。

■児童の思いや願い、問いを生かしたひまわり活動、生活科・総合的な学習の時間に位置付けた各学年の活動を行うことができていると思いますか。



ひまわりスタート集会



植ええ活動



草取り活動



学校評価 Aと学校関係者評価 の評価区分	きわめて良好	学校評価 の 評価 基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

III 児童の自主的・創造的な生活づくりと安心して生活・学習できる基盤づくり

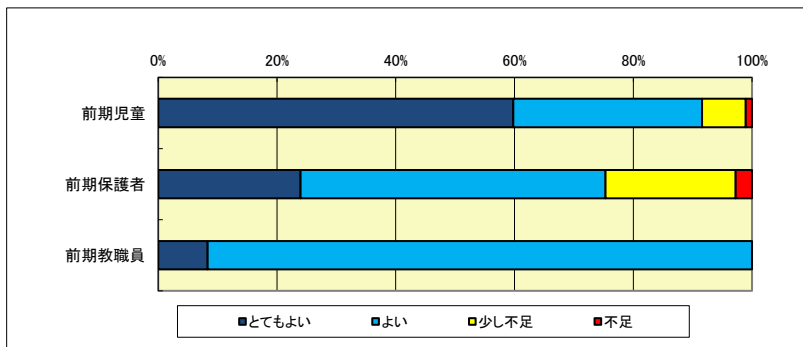
児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
「なりたい自分に向かって挑戦しよう。」を合い言葉に、生徒指導の機能を生かした学級経営や特別活動を通して自己有用感や自己肯定感の向上を図っている。	前期	おおむね良好	児童のヒアリングを通して、児童会活動を楽しんでいることが伝わってきた。より自発的・自治的な活動となることを期待している。あいさつ運動はぜひ今後も継続し、より一層あいさつの向上につなげてほしい。
	年度		
の 学 校 改 善 評 価 の 概 要 と 学 校	【前期(一年度)】4(9)(11)について→日常の言葉遣いについて、生活・集会委員会が中心となり児童集会を開いた。児童の実体験をもとにした共感のもてる内容を劇で表現し、休み時間や友達との関わりの中で気になる言葉遣いや態度などを全校に呼びかけることができた。今後も児童が課題意識をもって主体的に取り組めるようにしていく。また、縦割り班遊びを通して、異学年交流を行った。上学年・下学年との交流を楽しみにしている児童も多く、今後も継続していく。4(10)→あいさつについて、委員会の呼びかけのもと、各学年ごとに日替わりあいさつ運動を実施した。しかし、十分満足できる状態ではないので家庭にも協力を仰ぎ日常生活指導でも継続して指導していく。5(12)について→いじめアンケートの時期に合わせて先生と話そう期間を設定し、児童の悩みを聞いたり、児童の頑張りを伝えたりすることができた。また、問題行動やトラブルなど教師間の連絡を密にし、早期対応に当たることができた。5(13)について→クマや不審者情報など、機を逃さず昼の放送を活用して全校に指導と情報提供を行った。今後も関係機関との連携を密に行い、安全確保に努めていく。		
	【年度(一次年度)】		

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
4 思いやりの心や規範意識を大切にしたい学校づくり	(9) 「意識化-見取り-称揚-定着」のサイクルを徹底した生活習慣づくり	・「さくらんジャーのやくそく」による基本的な生活習慣の指導・日常の言葉遣い指導	3	
	(10) 美しい心を育むあいさつ運動・ボランティア活動	・あいさつ運動の工夫(一人一人があいさつリーダー、あいさつチャンピオン)・ボランティアデー(毎月25日)によるボランティアの奨励・ありがとう貯金		
	(11) 楽しい学校づくりに向けて進んで取り組む児童会活動や縦割り班活動	・委員会活動、さわやか朝会、代表委員会、児童総会等による児童の自発的・自治的な活動の助長・いいなの日(毎月17日)の縦割り班遊びの奨励		
5 安心して過ごすことができる学級・学年経営	(12) 自己有用感のもてる学年・学級経営	・先生と話そう期間の設定・問題行動などの早期解決・日常の教育相談活動等・一日一声一触の実施	4	
	(13) 安全・安心の基盤となる学びの環境づくり	・学校安全日・朝の交通安全指導・避難訓練・交通安全教室の実施		

○児童 □保護者 ■教職員

【4 思いやりの心や規範意識を大切にしたい学校づくり に関するデータ】

- (9)(10)「釈迦内小のやくそく」
 「さくらんジャーのやくそく」を意識して、校内のルールやマナーを守ることができました。
 学校は、基本的な生活習慣を身に付けさせるために「釈迦内小のやくそく」を活用したり、委員会を通してあいさつ運動を工夫したりしていますが、子どもたちに身に付いていると思いますか。
 「さくらんジャーのやくそく」による基本的な生活習慣の指導・日常の言葉遣い指導は十分にできているか。

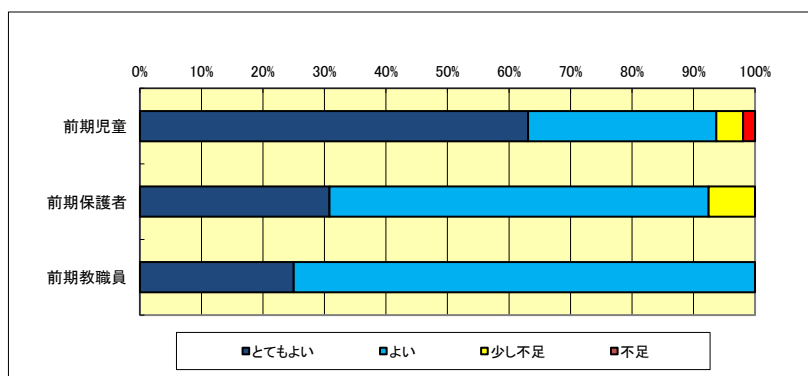


【言葉遣いに関する児童集会】



【5 安心して過ごすことができる学級・学年経営 に関するデータ】

- ふだんの授業や学年での活動、係や当番活動、委員会活動(4～6年)を通して、自分や友だちのよいところを見つけたりすることができましたか。
 一人一人を理解し認めることで自己肯定感を高めたり、係や委員会活動を通して自己有用感を高めたりして、一人一人が安心して学ぶことができる学校づくりを目指していますが、そうなってきていると思いますか。
 先生と話そう期間や問題行動などの早期発見・対応、交通安全指導など、安全・安心な学校づくりへの取組は十分にできているか。



【いいなの日(縦割り班活動)】



学校評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好	学校評価日の評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

IV 健康的な生活習慣の確立と体力の向上

児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント	
より健康的な生活のために生活習慣を見直し、運動に進んで取り組み、体力の向上を図っている。	前期	良好	良好	栄養教諭と連携した、食育指導がとてよく行われている。どんどん他の学年にも広がってほしい。児童は縄跳び運動に楽しんで取り組んでいるようである。今後も運動する機会を確保してほしい。学校の取組を、児童は楽しみにしているようである。
	年度			

【前期(一年度)】6(14)(15)について→栄養教諭による食育指導を2学年で実施し、食事の大切さに気付くことができた。今後は他の学年でも実施予定である。朝の健康観察でハンカチ調べをしている。1年生は学活で手洗い指導を行った。学校歯科医や養護教諭による歯みがき指導を2学期に計画している。大館市一斉のメディアコントロール週間を2学期に実施予定である。7(16)について→マラソン運動では、がんばりカードを活用したり体育委員会から賞状を発行したりしたことによって、自主的な体力づくりの意識を高めることができた。後期はなわとび運動の実施によって、児童の意識を高め、体力向上を図りたい。

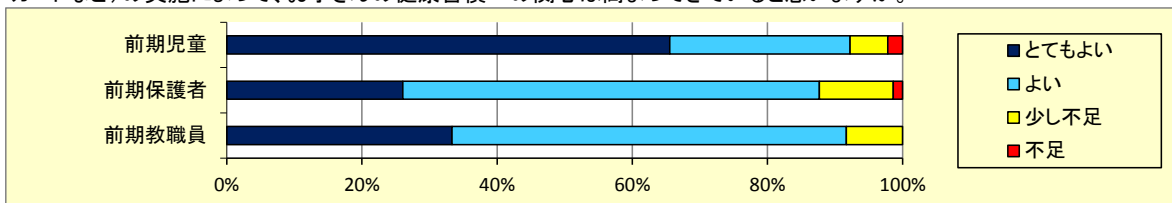
【年度(一学年度)】

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
6 健康的な生活習慣づくり	(14) 健康的・衛生的な生活の習慣化	・健康状態の把握及び指導(歯磨き、手洗い、メディアコントロール指導など)・清掃指導	4	
	(15) 栄養バランスのとれた食習慣の定着、食に対する意識の高揚	食育指導、栄養教諭とのTT		
7 体力づくり	(16) 継続的な体力づくりと新体カテストの実施・活用	体育指導の充実と改善、マラソン、なわとびタイムの実施・データ分析と各学年の重点強化	4	
	(17) 体育行事の充実	目標を持たせた事前事後指導		

○児童 □保護者 ■教職員

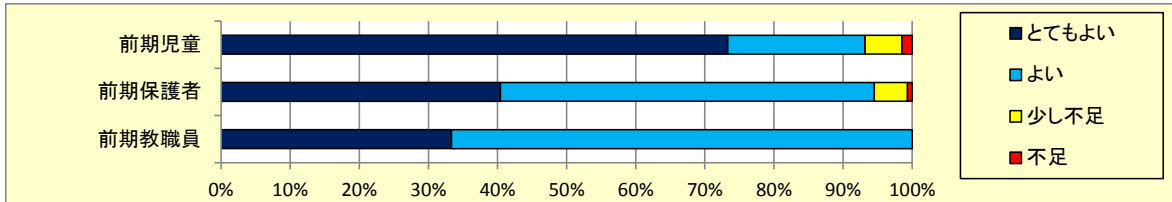
【6(14)(15)健康的な生活習慣に関するデータ】

○手洗い、アルコール消毒、ハンカチを身に付けるなどに気を付けて生活できましたか。
 給食を好き嫌いせずにご飯を食べることができましたか。
 学校は、健康指導(栄養教諭による食育指導、養護教諭による歯磨き指導や生活改善のためのすこやかチャレンジカードなど)の実施によって、お子さんの健康習慣への関心は高まってきていると思いますか。



【7(16)(17)体づくりに関するデータ】

○マラソンや外遊びなど進んで体力づくりをすることができましたか。
 学校は、体力向上のためにマラソンやなわとびタイムの実施、外遊びの奨励をしていますが、子どもたちは進んで運動し、体を鍛えようとしていますか。



手洗い指導(1年生)



マラソン運動(6年生)



学校評価Aと学校関係者評価の区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

V 自ら考え、学び合う授業づくりと確かな学力の定着

児童生徒の状況	自己評価A	外部評価	外部評価委員のコメント	
子どもたちが共感的・協働的に学び合う学び合う授業づくりを行っている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	どの学年も授業に向かう姿勢がよくなっている。このがんばりを維持することで、学力の向上に結び付けていってほしい。親子読書が家庭の対話につながっている。高学年になると本の内容が難しくなったり量が多くなったりするため、取組に困難さが出てくる。低学年と高学年で取組み方に一考の余地があってもよい。
	年度			

の学校改善評価の概要と学校

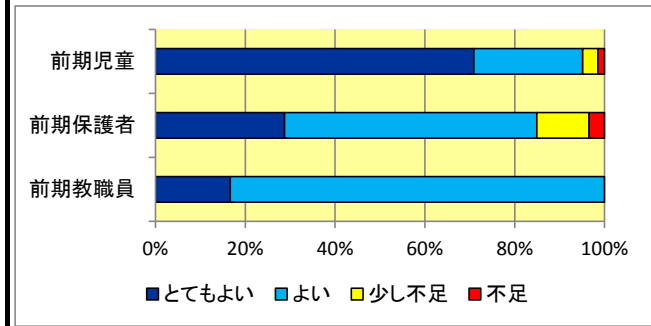
【前期(→年度)】8(18)に関して一学年毎に「家庭学習の手引き」を作成し、毎日の見届け・励まし等を実施してきた。取組み方がよく分からない児童もいるため、メニューを示したりよいノートの書き方を紹介したりしている。また、PTAに合わせたノート展を実施し、家庭への啓発にもつなげている。8(19)に関して一今年度から朝・昼2回の読書タイムを設定し、じっくりと本に向き合う時間を確保している。また、定期的な読み聞かせ、月1回の親子読書を行っている。栗盛記念図書館から学年に合う本の貸し出しをお願いをするなどの連携を図ったり、利用しやすい図書室の整備に取り組んだりして、読書への関心を高めていきたい。9(20)に関して「何を」「どのように」学習したらよいのか見直しをもって学習できるよう、子どもたちとともに学習計画を立てたり、視点を明確にしたりして、授業を進めることを大切にしている。主体的に学ぶ姿勢が自分の考えをもち、互いに学び合う姿につながるのではないかと考える。教師自身が一人一人の考えを大切に、認め・ほめ・価値付けることで自信をもたせたり、子どもの考えを相互に「つなぐ」コーディネートをすることで深い学びにつなげていきたい。

【年度(→次年度)】

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
8 基本的学習習慣の形成	(18) 基本的な学習習慣の定着	・「学習のやくそく」に基づいた基本的な学習習慣の徹底・「学び合いの表現」の活用・「家庭学習の手引き」の作成・主体的な家庭学習の奨励・「お宝Myノート」の紹介	3	
	(19) 読書活動の充実	・図書の活用・親子読書・読み聞かせなど		
9 確かな学力	(20) 学び合い、生き生きと表現する授業づくり	・身に付けたい力を明確にした授業構想・ねらいに応じた学習形態の工夫・考えの共有、追求の場の設定(ひまわりタイム)・学びを深める発問の吟味と「つなぐ」意識の徹底・学びの価値付けと自己肯定感の醸成	3	
	(21) 基礎学力・語彙力を高める場の設定と諸検査の活用	・短作文コーナー等の設置・全校漢字計算テストの実施による基礎的学習内容の習熟・各種検査の分析と回復指導・NIEへの取組		

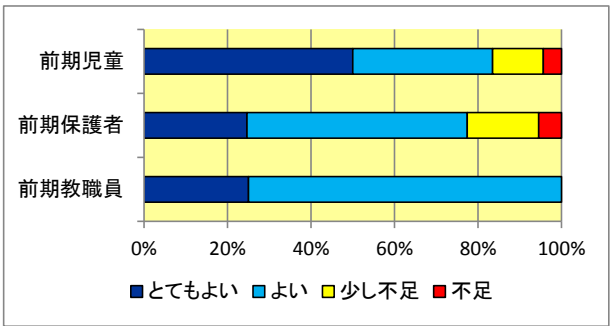
【8(18)学習習慣の形成のデータ】

基本的学習習慣の形成
 家庭学習(一人勉強・宿題)を続けて学習することができましたか。
 学校は、学習習慣の形成として、「学習のやくそく」や「家庭学習の手引き」を活用し、基礎学力の向上を目指していますが、子どもたちは、一人勉強やプリント学習など、継続して学習する習慣が身に付いていますか。



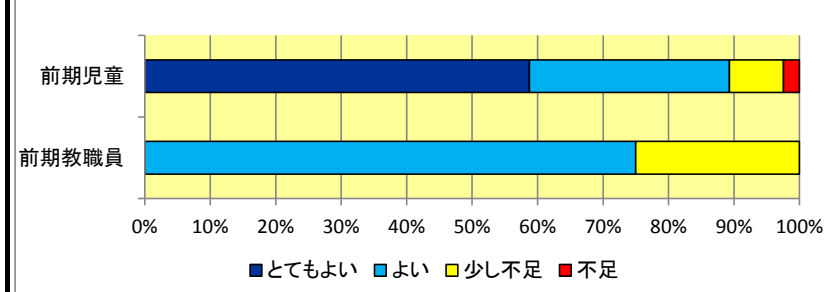
【8(19)読書活動の充実のデータ】

読書の奨励
 図書館を利用したり、進んで読書をしたりすることができましたか。
 学校は、読書を奨励するために、朝や昼の読書タイムの実施や図書館の利用、月一回の親子読書を実施していますが、子どもたちの読書への関心は高まってきていると思いますか。



【9(20)確かな学力に関わるデータのデータ】

自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりして、学び合うことができましたか。
 研究部や学習部の計画のもと、日々の授業や研究授業で学び合い、生き生きと表現する授業づくりになっていますか。



【1年 特別活動での授業の様子】

令和3年度・前期学校評価一覧		大館ふるさとキャリア教育(ふるさとを担う「未来大館市民」の育成)						
学校教育目標 ～桜三心 向陽三行～ 美しい心と たくましい実践力のある 子どもの育成				重点目標 「なりたい自分」に向かって前向きに挑戦する子どもを育てる「感謝」～SP10周年～				
評価項目	自己評価A (上段:前期) (下段:年度)	学校関係者評価 (上段:前期) (下段:年度)	評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B (前期)	自己評価B (年度)	
								人間 的 基 礎 力 ・ 大 館 市 民 基 礎 力 ・ 大 館 市 民 実 践 力 の 育 成
I 学校運営と保護者・地域との連携 (教頭・事務)	確かな組織運営を基盤として、学校の取組が保護者によく伝えられ、家庭や地域の方々の協力を得た活動が効果的に行われている。	おおむね 良好	おおむね 良好	1 校内運営組織の機能化	(1) 職員会議、指導部会、学年主任会の計画的な運営 (2) 教育活動に生きる事務運営と施設設備の管理	4		
				2 学校や子どもの情報の受発信、地域の教育力の活用	(3) 家庭への定期的・効果的な情報発信、学校公開日の実施			3
					(4) 関係諸団体との連携強化と教育力の活用			
					(5) 幼・保・中との連携			
					3 児童主体のひまわり活動			
4 思いやりの心や規範意識を大切にしたい学校づくり	(9) 「意識化－見取り－称揚－定着」のサイクルを徹底した生活習慣づくり (10) 美しい心を育むあいさつ運動・ボランティア活動	3						
III 児童の自主的・創造的な生活づくりと安心して生活・学習できる基盤づくり (生活指導部)	「なりたい自分に向かって前向きに挑戦」を合い言葉に、生徒指導の機能を生かした学級経営や特別活動を通して自己有用感や自己肯定感の向上を図っている。		おおむね 良好	おおむね 良好	(11) 楽しい学校づくりに向けて進んで取り組む児童会活動や縦割り班活動	4		
					(12) 自己有用感をもてる学年・学級経営			
		(13) 安全・安心の基盤となる学びの環境づくり						
IV 健康的な生活習慣の確立と体力の向上 (保健体育部)	より健康的な生活のために生活習慣を見直し、運動に進んで取り組み、体力の向上を図っている。	良好	良好	6 健康的な生活習慣づくり	(14) 健康的・衛生的な生活の習慣化 (15) 栄養バランスのとれた食習慣の定着、食に対する意識の高揚	4		
				7 休づくり	(16) 継続的な体力づくりと新体力テストの実施・活用 (17) 体育行事の充実		4	
					8 基本的学習習慣の形成			(18) 基本的な学習習慣の定着 (19) 読書活動の充実
V 自ら考え、学び合う授業づくりと確かな学力の定着 (学習指導部・研究)	子どもたちが共感的・協動的に学び合う授業づくりを行っている。	おおむね 良好	おおむね 良好	9 確かな学力	(20) 学び合い、生き生きと表現する授業づくり (21) 基礎学力・語彙力を高める場の設定と諸検査の活用	3		